

白糠で撮影

映画「アイヌプリ」

全国公開

白糠アイヌ協会会長の天内重樹さんに密着し、家族や友人など、日常生活の中でアイヌプリ（アイヌ式）を実践する人たちの等身大の姿を追ったドキュメンタリー映画「アイヌプリ」が公開中です。



舞台あいさつ後のフォトセッション。左から福永監督。天内会長、奥さんの愛香さん、次男の基輝さん、三男の芳樹君

公開初日の12月14日、東京渋谷区「ユーロスペース」で初日舞台

あいさつが行われ、福永壮志監督、天内重樹さんと次男の天内基輝さんの3人が登壇しました。

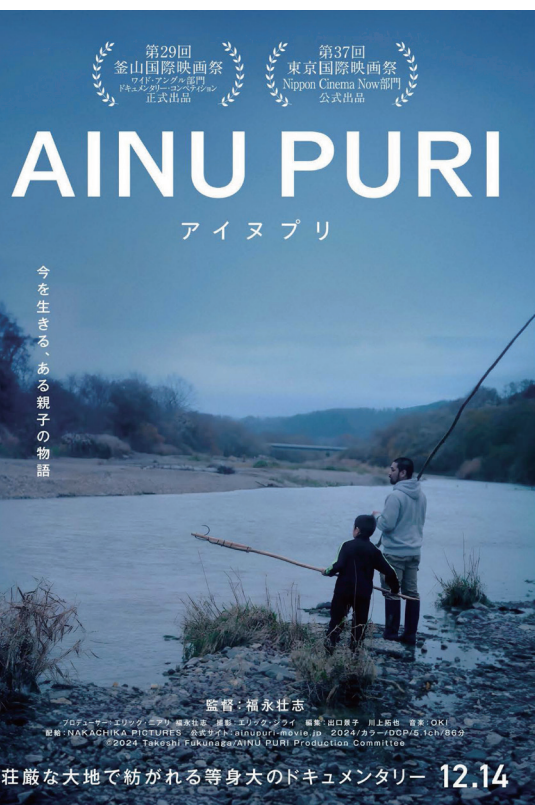
今月号では、終始アットホームな雰囲気で行われた舞台あいさつの様子をお届けします。

※広報用に編集しています。

―撮影を始めたのが5年前ということですが、ドキュメンタリー制作のきっかけから制作に入るまでの経緯をお聞かせください。

福永壮志監督（以下「監督」）
2作目の「アイヌモシリ」という映画の撮影中にシゲさん（天内会長のこと）と初めてお会いしました。シゲさんのことはサケ漁（マレプ漁）の記事などを読んだことがあって知っていたので、あいさつをして「いつかサケ漁を見てみたいです」というお話をしたら、快く「いつでも来ていいよ」と言ってくれて、撮影後にそのまま白糠へ行きました。夜の真っ暗な中で友だちとはしゃぎながらサケ漁をしている姿を見て、肩肘張って伝統文化をつなげるということ

イヌを題材にした映画を作ることへの繊細さを「アイヌモシリ」で実感していたので、撮影時から過剰に美化しないようにだとか、偏見を助長しないようにということに気を付けていました。ですが、編集で冷静に見てみるとやっぱり違って、その線引きが難しく、踊りのシーンはそれがすごく象徴的でした。アイヌの着物は儀式などの特別なときに着るもので、踊りの練習のときには着ていないのですが、撮影用に着てもらいま



舞監督：福永壮志
プロデューサー：エリック・ニアリ 福永壮志
撮影：エリック・シライ 編集：出口景子 川上拓也 音楽：OKI
配給：NAKACHIKA PICTURES 公式サイト：ainupuri-movie.jp
2024/ カラー/DCP/5.1ch/82分
©2024 Takeshi Fukunaga/AINU PURI Production Committee

はなく、楽しくて好きだからやっているという感じが、すごくすてきだなと思い、印象に残っていました。それでその翌年、アイヌモシリの撮影が終わった後に、ドキュメンタリーとして撮影できないかという相談をしたら、シゲさんも「面白そうじゃん」ということで、その年の2019年秋から撮影を始めたという経緯です。

―重樹さん、そのお話をいただいたときは、このような映画になるという想像をしていましたか。

天内重樹（以下「重樹」） 全然

た。すごくよく撮れていたのですが、これは自分が美化してしまったのではないかと思い、その場面は抜きました。ですが映像に問題がないかを皆さんに確認してもらった際に「あのシーンはどうしたの？」と聞かれて、悩んだ末にカットしたということを正直に話したら「かっこいいんだから入れてよ」と。最終的には入れることにしましたが、どこで線引きをするかというのは対話の中でしか生まれないということを実感しました。

―重樹さん、入れていただいて良かったですね。

重樹 そうですよ、どうせ映画でみんなに見られるのなら、かっこいいところを見てほしい（笑）

―実際にそのシーンを皆さんと一緒に鑑賞していかがでしたか。

重樹 映画で見るから「すげー」って思うけど、自分の踊りとして見たら「あれ、ちょっと下手くそだな」って（笑）

―基輝さん、どうですかお父さん

想像してなくて、ほぼ何も考えずに「面白そうじゃん」って。したらこんな映画になって、すごくいろいろな気持ちが入り込んできて泣きそうになりました（笑）

―基輝さんは監督と最初に会ったときの印象は。

基輝 父ちゃんと母ちゃんが仲良くしている人だなと（笑）。撮影が終わった後に「監督」と呼ばれているのを聞いて「え？監督なんだ」と初めて実感しました（笑）
監督 今日は愛香さんと三男の芳樹君も一緒に映画を見ていたので

の踊りを見て。

基輝 実際に見る方が上手だなんて（笑）

重樹 ありがとう（笑）

―息子さんと一緒に映画にでられたというのはどうですか。

重樹 撮影中から本当に監督とスタッフとみんなが友だちみたいなのが良かったので、家族の記録映画を見ているような気持ちになりましたけど（笑）

監督 家族の記録映画だよ（笑）
重樹 あ、そうなの（笑）

―撮ってもらったのに入っていないシーンとかはありますか。

重樹 シカ猟は何回も行っているんですけど、なかなかシカが獲れなくて、でも映像で見たら（それは全てカットされているので）「俺、めちゃくちゃ凄腕ハンターじゃん、みたいな」（笑）
監督 本当に何回もトライして、やっと撮れたのですが、そのときにすごいショットがでたので幸運でした。